

第30回 鹿児島県柔道選手権大会 (第62回九州柔道選手権大会鹿児島県予選) 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県体育協会 南日本新聞社
- 3 期日 令和2年2月1日(土)
※ 審判会議=9時00分
※ 開会式=9時30分
- 4 会場 鹿児島アリーナ武道場
- 5 出場資格
(1) 県内で令和元年度の全日本柔道連盟登録済の者。
(2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
 - ① 各地区 鹿児島地区4名, その他の地区2名以内とする。ただし, 川内地区, 肝属地区については, 自衛隊枠を別に2名設ける。なお, 下記の②~⑦に該当する者は除く。
 - ② 県警察 6名以内
 - ③ 鹿児島刑務所 3名以内
 - ④ 国分自衛隊 4名以内
 - ⑤ 鹿屋体育大学 6名以内
 - ⑥ 鹿児島大学 2名以内
 - ⑦ 高体連 若干名
 - ⑧ 推薦 前年度の1・2位入賞者
 - ⑨ その他, 主催者が認めた者
- 6 競技規則
(1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
(2) 試合時間は4分間とする。
(3) 優勢勝ちの判定基準は, 全日本選手権, 九州選手権に準ずる。
(4) 試合の方法は, トーナメント方式とする。
- 7 組合せ 主催者において決定する。
- 8 表彰
(1) 第1位から第5位までを表彰する。
(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)
(2) 永年出場者を表彰する。
(3) 広告協賛協力者に感謝状を贈呈する。
- 9 参加料 2,000円(大会当日, 受付で納入する。)
- 10 参加申込み 令和元年12月13日(金)必着で申し込みすること。
- 11 その他
(1) 脳震盪対応について
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は, 脳神経外科の診療を受け, 出場の許可を得る。
イ 大会中, 脳震盪を受傷した者は, 継続して当該大会に出場することは不可とする。
(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について, 発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい, もしくは感染が判明した選手については, 迅速に医療関係において, 的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は, 大会への出場が出来ない場合もある。
(3) 上位4名は, 3月8日(日)に福岡武道館で行われる第62回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し, 特別な事由がある場合は, この限りではない。
(4) 選手は, 「スポーツ安全保険」等に参加しており, 健康であること。
(5) 試合による負傷については, 試合場での応急処置のみとする。
(6) ゼッケンは, 必ず対角線にも縫い付けること。
(7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので, できるだけ公共交通機関を利用すること。
(8) 出場者は, 「スポーツ安全保険」等に参加しており, 健康であること。
(9) 個人で靴を管理するために, 各自ビニール袋を準備すること。